

事 務 連 絡
令和 2 年 5 月 25 日

市内障害児通所支援事業者 御中

川崎市健康福祉局障害保健福祉部障害計画課担当課長

緊急事態宣言解除後に伴う障害児通所支援事業所の対応について

日頃から、本市障害福祉事業施策に御尽力を賜り、御礼を申し上げます。

新型コロナウイルスへの対応については、令和 2 年 4 月 20 日付け事務連絡「障害児通所支援施設等における新型コロナウイルスへの対応について（その 3）（通知）」などで、本市の見解をお示したところですが、このたび緊急事態宣言解除された場合の障害児通所支援事業所の対応について下記の通りの取扱いといたします。

○今後の取扱い

緊急事態宣言解除や臨時休校解除された場合でも、特別支援学校等においては、地域によって学校の再開の状況等が異なることが考えられるため、当面の間、令和 2 年 4 月 20 日付け事務連絡「障害児通所支援施設等における新型コロナウイルスへの対応について（その 3）（通知）」の取扱いを引き続き認めることとします。

○放課後等デイサービス事業所の代替的な支援の要件について

※下記取扱いは放課後等デイサービス事業所のみが対象です

居宅への訪問や電話等で児童の健康管理や相談支援等の可能な範囲での支援の提供を行ったと本市が認める場合の要件として、下記 4 点を定めていますが、放課後等デイサービスでは代替的な支援について利用者負担全額軽減することとなりましたので、下記の通り、（1）の要件を修正します。

- （1）あらかじめ保護者に対して、通常どおりのサービスとみなされることについて、~~利用者負担が発生する旨、~~丁寧な説明を行い、同意を得ること。
- （2）居宅等を訪問した場合は、その日時と所要時間、支援の内容を記録すること。
- （3）電話による相談等については、その日時と通話時間、支援の内容を記録すること。単なる欠席連絡のみの場合は、サービス提供とはみなされません。
- （4）該当日の利用者のサービス提供実績記録票に、「訪問（電話等）による支援であること」及び「支援を行った時間」を記載し、保護者から押印又は署名は必ずもらうこと。